

令和 3 年 度

事 業 計 画 書

一般財団法人 全国市町村振興協会

令和3年度事業計画

本協会は、市町村の健全な発展を図るために必要な貸付事業、助成事業、災害対策関連事業等の諸事業を積極的に行うことにより、地方自治の振興と住民福祉の増進に資することを目的とする。

各都道府県の市町村振興協会（以下「地方協会」という。）と密接な連携を取りながら、次の事業を実施する。

1 貸付事業

(1) 地方協会に対する資金の貸付

① 短期貸付（貸付計画額：10億円）

大規模災害に見舞われるなど、緊急を要する融資が必要な市町村に対し地方協会が同一会計年度内一括償還貸付を行う際の原資について融資する。

② 長期貸付（貸付計画額：50億円）

災害対策やまちづくりなどを推進する市町村に対し地方協会が貸付を行う際の原資について融資する。

(2) 貸付事業の調査等

地方協会が行う貸付事業について、短期貸付及び長期貸付の状況を調査するとともに、本協会の貸付事業に係る資金需要の見通しを把握する。

2 助成事業（助成計画額：42億28百万円）

市町村の振興に資する事業のうち、全国的な視野に立って行われる50事業に対して助成する。

そのうち、通常事業は49事業（助成計画額：25億65百万円）、臨時事業は1事業（助成計画額：16億63百万円）である。

【通常事業】

（単位：百万円）

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
国際化推進事業	自治体国際化事業	自治体の国際交流の推進、海外からの研修生受け入れや海外への派遣等自治体の国際間の人的交流の促進、多文化共生の観点に立った地域国際化推進のための活動の支援、地域の国際化に関する海外情報の収集・提供等を行い、国際化に対応した地域振興、人材の養成を図る事業。一般市町村分負担金に相当する額を一括助成。	259	自治体国際化協会
	小計（1事業・1団体）		259	—

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
少子・高齢化対策事業	ライフプラン普及・啓発のための視聴覚教材作成事業	急激に変化した社会情勢に対応するため、地域住民に対するライフプラン策定を支援する人材の育成が急務であり、その研修教材として、世代別・テーマ別に視聴覚教材を作成する事業。	21	地域社会ライフプラン協会
	小 計 (1事業・1団体)		21	—
情報化推進事業	市区町村セキュリティ向上事業	地方公共団体の情報セキュリティレベルの向上を支援するため、セキュリティに関する情報提供を行い、各地方公共団体のCSIRT(情報セキュリティ事故・事件が発生した場合の緊急対応組織)の全国的な連携を図り、セキュリティ事故・事件の発生時の対応能力向上のための技術講習会を開催する事業。	51	地方公共団体情報システム機構
	情報セキュリティ共同研修事業	最新のセキュリティ技術や個人情報の取り扱いレベルの向上を図る情報セキュリティ研修及び個人番号制度関連研修をそれぞれの立場に応じたコースで動画配信及びリモートラーニングにより研修を行う事業。	61	
	市町村法制執務支援事業	全国の地方公共団体の例規、法令、判例等のデータベースからなる「法制執務支援システム」の提供データを拡充するとともに、ポータルサイトにおいて随時利活用できるようにすることにより、市町村の法制執務を支援する事業。	62	地方自治研究機構
	地方債・金融関連情報共有・活用事業	市町村に必要な地方債の借入に関する情報をインターネットにより一元的・総合的に提供し、情報の共有及び活用の促進を図ることにより、有利で安定した地方債の借入を推進する事業。	49	地方債協会
	路線価等集約事業	全国の路線価等の電子データを集約し、ポータルサイト「全国地価マップ」において公開するとともに、その電子データをDVDに取りまとめて全市町村に配付することにより、市町村の固定資産税土地評価の適正化を図る事業。	43	資産評価システム研究センター
	小 計 (5事業・4団体)		266	—
文化芸術振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業	市町村が自主的に企画立案した地域における創造的・文化的な芸術活動を支援することにより、自主事業の企画制作能力の向上と市町村文化施設の利活用の推進を図る事業。	137	地域創造
	全国フェスティバル事業	各地域の伝統芸能・祭り等を全国に向けて発信する「地域伝統芸能まつり」をNHKホールにおいて開催することにより、地域の伝統芸能等の保存・承継を支援する事業。	75	
	公共ホール音楽活性化事業	演奏家等を公共ホールに派遣し、市町村と共催でコンサート及び地域との交流を図るプログラムを実施するとともに、市町村が自主的に企画したコンサート等を支援することにより、公共ホールの利活用、地域文化の活性化を図る事業。	44	
	公立美術館活性化事業	地域創造の企画提示による複数の市町村立美術館の共同巡回展を支援することにより、市町村立美術館の企画制作能力の向上、連携の促進、所蔵品の利活用を図る事業。	15	
	公共ホール現代ダンス活性化事業	アーティストを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施することにより、地域の公共ホールの活性化を図る事業。	13	
	小 計 (5事業・1団体)		284	—

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
消防・防災 対策推進事業	全国消防操法大会事業	消防団が消防操法技術を競い合う全国大会を開催することにより、消防技術の向上と地域における消防活動の充実を図る事業。	31	日本消防協会
	全国消防団大会事業	全国の消防団長・副団長等が一堂に会し、消防団が当面する課題等について考察を深めるとともに、顕著な功労、功績のあった消防団、団員等を表彰する全国大会を開催することにより、消防団活動の充実強化を図る事業。	28	
	「危険物製造所・一般取扱所の設置許可等に係る審査事務用チェックリスト」の作成事業	危険物製造所等を設置・設備変更した場合は、消防法により完成検査に合格しなければならないが、ベテラン職員の大量退職により「検査技術の伝承」が課題となっていることから、全国消防機関において統一的に活用できる「審査事務用チェックリスト」を作成し、研修会で周知して危険物事故防止を図る事業。	46	全国危険物安全協会
	全国救急隊員シンポジウムの開催事業	全国の救急隊員等を対象とした救急医療に関する最新情報の習得、実務的観点からの研究発表・意見交換や相互交流を図る全国的なシンポジウムを開催することにより、救急体制の充実を図る事業。	45	救急振興財団
	全国消防救助技術大会事業	消防職員の救助技術を競い合う全国大会及び地区大会を開催することにより、消防救助技術の向上、全国的な救助技術の平準化を図る事業。	37	全国消防協会
	災害ボランティアシンポジウム等開催事業	災害時における退職者の豊富な実務経験の活用が注目されており、退職者による災害ボランティアをテーマに、課題やネットワークの構築等について意見交換するためのシンポジウムを開催することにより更なる活動の充実を図る事業。	22	地域社会ライフプラン協会
	被災地派遣初任研修・心のケア事業	東日本大震災の被災市町村では、不足する土木、建築等の専門的知識や経験を有する者を任期付職員として採用しているが、地方公務員として必要な地方自治制度、財務会計制度等の知識を身につけてもらうための初任研修を行うとともに、復興業務にあたることによるストレスとの向き合い方や心身の調子を保つ方法を学ぶ心のケア研修を行う事業。	10	
	市町村地域防火防災総合力強化事業	全国の各地域で活動する女性(婦人)防火クラブ、自主防災組織、幼・少年消防クラブ等が消防本部と協働して地域住民が参加する防火大会、防火フェア等を開催することにより、火災予防思想や防災意識の啓発等を行うとともに、防火・防災に関する情報を民間防火組織等に提供することにより地域の防火防災力の充実強化を図る事業。	20	日本防火・防災協会
	危機管理体制調査研究事業	避難所外避難者の支援体制構築に資する施策案について調査研究を行うことにより、市町村の危機管理体制の充実・強化等を図る事業。	13	日本防火・危機管理促進協会
小 計 (9事業・7団体)			252	—
地域活性化 推進事業	地方創生のための移住・交流推進支援事業	都市と地方の交流を促進するとともに、都市から地方への移住を支援することにより、地域の活性化を図る事業。 また、地域課題解決のため、出前講座及びセミナーを開催。	170	地域活性化センター
	地方創生を担う人材育成の推進事業	地域づくり活動に関わる者を対象に地域活性化の具体的事例を現場から直接学ぶ機会(地方創生実践塾及び地方創生フォーラム)を提供することにより、地方創生の実践的手法・方策等の知識を深め、それぞれの地域で応用実践できる人材を育成する事業。	46	

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
地域活性化 推進事業	全国地域リーダー 養成塾の運営事業	豊かな創造性を備え、意欲あふれる地域リーダーを育成するとともに、全国的な情報交換やネットワーク構築を支援するための専門的な研修・人材育成を行うことにより、活力ある地域づくりの推進を図る事業。	32	地域活性化 センター
	スポーツによる地 域振興助成事業	小・中・高校生が参加する各種スポーツのうち、全国大会を継続的に開催し、地域活性化に役立っている市町村の取り組みを支援する事業。 また、助成期間満了を迎えたスポーツ拠点承認市町村のうち、助成終了後も継続して大会を開催する市町村に対して自立継続への円滑な移行を支援。	32	
	地域づくりコンテ ンツ発信支援事業	地域活性化の先進的かつ優良な事例として、「ふるさとづくり大賞」や「ふるさとイベント大賞」の受賞団体の活動を映像化し、インターネットで公開することにより、地域づくり団体等の特色ある取り組みや継続的な取り組みについて、全国の市町村が情報共有することにより市町村の地域づくりの推進を図る事業。	18	
	地域づくり団体研 修交流事業	市町村のパートナーとして地域課題に取り組む地域づくり団体の活動を支援するとともに、全国の地域づくり団体間の相互交流と情報交換の促進を図る「地域づくり団体全国研修交流会」等の全国レベルの研修交流会を開催する事業。	17	
	地域おこし協力隊 員推進支援事業	市町村の地域おこし協力隊員募集情報を掲載するポータルサイトを運営し、隊員の活動の紹介、イベント・セミナー等の情報提供、隊員の起業支援等を行う事業。	10	
	地域再生マネー ジャー事業	地域再生を目指す市町村に対して、実務的なノウハウを有する外部人材(地域再生マネージャー)を派遣することにより、地域の活性化に向けた持続可能な仕組みの構築を支援する事業。	137	地域総合整 備財団
	公民連携推進事業	公共施設の維持管理や運営等に関して、PPP/PFI、公共施設マネジメント等の公民連携手法に関する諸問題について調査研究を行い、その結果を市町村に情報提供し、各制度の円滑な導入及び運用を支援する事業。 また、新たなテクノロジーを活用し、地域課題を公民が連携して解決する手法(地域イノベーション)について、モデル市町村と共同して調査研究を行う。	73	
	ふるさとものづく り支援事業	地域産業の育成に向けて、地域資源を活用した新商品開発に取り組む企業等を助成する市町村を支援することにより、地域経済の活性化や雇用機会の創出を図り、地域産業の育成モデルを全国の市町村に発信する事業。	50	
	まちなか再生事業	まちなかの再生に取り組もうとする市町村に対し、外部人材をモデル的に派遣することにより市町村の取り組みを支援し、その結果を市町村に情報提供することにより、各地におけるまちなか再生の展開を図る事業。	48	
	小 計 (11事業・2団体)		633	—
地域社会貢 献活動等事 業	選挙制度啓発事業	市町村が行う明るい選挙推進運動の活性化を図るため、衆議院議員総選挙の全国意識調査及び若い有権者の意識調査を行うとともに、明るい選挙推進のための研修会の開催支援や、地域で明るい選挙推進運動を進めるリーダーの養成を目的とした地域ボランティア及び若者リーダーフォーラムを開催することにより、市町村の選挙制度啓発を支援する事業。	26	明るい選挙 推進協会
	小 計 (1事業・1団体)		26	—

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
特別研修・人材育成事業	市町村防災研修事業	頻発する大災害を踏まえ、市町村長、防災対応職員等を対象に、それぞれの職制に応じた実践的な災害対応に関する知識、ノウハウ・スキル等を習得する防災危機管理に関する研修を行う事業。 また、オンラインのみで受講できるオンライン版市町村職員防災連続講座を行う。	180	消防防災科学センター
	薬剤投与講習等に係る支援事業	救命率向上のため、救急救命士の処置範囲に「薬剤投与」等が拡大されたことにより、講師の確保、高度訓練用資器材の整備、病院実習体制の拡充、講習期間の延長等、救急救命士養成講習の増加経費の一部に対し助成する事業。	132	救急振興財団
	地方公務員安全衛生推進事業	労働安全衛生法に基づく「衛生管理者」及び「安全衛生推進者」の資格取得を促進するための講習会を開催するとともに、市町村の産業医、保健師、看護師等を対象に安全衛生施策に必要な最新の知識等を提供する研修会等を開催することにより、職員の安全と健康を確保し、公務災害を未然に防止するための事業。	39	地方公務員安全衛生推進協会
	地域防火防災人づくり推進事業	地域防災力の向上に向け、女性(婦人)防火クラブ、自主防災組織の指導的立場にある者を対象に研修会を実施し、防火防災意識の普及、防火防災活動への参加促進と活動の活性化を図る事業。 また、防火防災活動のみならず、応急救護技術を取得するための講習会を開催。	35	日本防火・防災協会
	法務能力向上のための特別実務セミナー事業	市町村職員の法務能力の向上を図るため、全国的な課題(個人情報保護、情報公開等)に焦点を当てた「法務特別セミナー」や、行政の個別課題(まちづくり条例、空き家対策条例等)に焦点を当て、市町村のニーズに合った条例制定の際の問題点及び行政に直接関係のある重要判例を研究する「法務実務研究セミナー」を開催する事業。	25	地方自治研究機構
	「Society5.0時代の地方」セミナー事業	日本社会は、Society5.0に向けた変革期に立っており、その科学技術を活用することは持続可能な地域社会を実現するための方策と考えられているので、「Society5.0時代の地方」をテーマとした研修を市町村の情報政策担当職員以外の職員を対象に実施する事業。	8	
	電子化を背景とした市町村税務事務に関する研修事業	①特別徴収税額通知電子的送付未対応の市町村を対象に税務手続の電子化研修、②一般市町村職員を対象にブロック別徴収研修を開催するとともに、③eLTA運用に係る対応手順の整備等が遅れている市町村を対象に出張研修を実施する事業。	23	地方税共同機構
	消防団幹部等特別研修事業	地域防災力の要である消防団の幹部、幹部候補及び消防団員指導員を対象に、実技を含めた専門性の高い研修を行うことにより、消防団運営の充実・強化を通じ地域防災力の向上を図る事業。	17	日本消防協会
	固定資産の評価に関する研修事業	固定資産税制度及び資産評価制度について、即戦力として業務に従事できる人材を育成するため、基礎的・一般的知識の習得を目的とした研修や土地、家屋及び償却資産の評価の技法を系統的に習得する専門的研修を行う事業。	12	資産評価システム研究センター
小 計 (9事業・8団体)			471	—

(単位：百万円)

区 分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
地域共通課題調査研究事業	地域社会における連携・協働に関する調査研究事業	地域社会の多様な主体による公共私連携・協働の仕組みやプラットフォーム(組織的基盤)のあり方及びその構築に当たり市町村がどのような役割を果たすべきかについて、コロナ禍を契機に新たに開発された住民サービスの事例調査を通して調査研究するとともに、地域社会を担う人材の育成方策についても調査研究を行い、地方自治の充実等を図る事業。	34	自治研修協会
	市区町村の経営に関する調査研究等事業	市町村が行財政改革のもとで行政サービスを提供するにあたり、市町村が取りうる様々な手法について、①自治体における行政不服審査制度の運用と自治体法務の課題に関する調査研究、②市区町村におけるスマート自治体・デジタルトランスフォーメーション促進に関する調査研究を行政経営の観点から実施し、地方自治の充実発展を図る事業。	30	地方自治研究機構
	固定資産の評価に関する調査研究事業	固定資産税及び資産評価制度に関する諸問題について、研究委員会(①土地に関する調査研究委員会、②家屋に関する調査研究委員会、③地方税における資産課税のあり方に関する調査研究委員会)を設置し、専門的な調査研究を行うことにより、経済情勢の変化に対応した制度改善を図るとともに、納税者の固定資産税についての理解を促進する事業。	13	資産評価システム研究センター
	小 計 (3事業・3団体)		77	—
市町村関係四団体活動事業	地方分権・地域活性化推進事業	全国の各都市間の連絡調整、市政の円滑なる運営と進展を図るため、「分権型社会」の実現に向け要請活動を行い、その実現について調査研究するとともに、子育て支援、高齢者対策、教育、環境等の諸課題についても調査研究する事業。 また、人事管理研修会及び都市税財政主管者研修を開催する事業。	65	全国市長会
	地方分権・地域活性化推進事業	分権型社会に相応しい地方議会制度の強化を図るため、市議会議員研究フォーラム等を開催するとともに、地方分権・地域活性化に関する各市の実態調査を実施する事業。 また、市議会事務局職員研修会の開催、各市議会への情報提供を行う事業。	41	全国市議会議長会
	地方分権・地域活性化推進事業	町村の声を国政に反映させ、町村が抱える課題の解決を図るため、政府・国会への要請活動を行うとともに、町村に共通する諸課題について調査研究する事業。 また、地域農政未来塾及び政務担当職員研修会を開催する事業。	97	全国町村会
	地方分権・地域活性化推進事業	町村議会の直面する諸課題の解決を図るため、町村議会の制度・運営面の改善策について調査研究するとともに、全国の町村議会に関する実態調査を実施する事業。 また、町村議会議員等を対象とした研修会の開催、各町村議会への情報提供を行う事業。	73	全国町村議会議長会
	小 計 (4事業・4団体)		276	—
通常事業の合計 (49事業・24団体)			2,565	—

【臨時事業】

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
消防・防災 対策推進事 業	新・日本消防会館 建設事業	自治体消防の総合的な中核拠点施設であり、施設の多様な活用により市町村自治行政の発展に寄与することを目指す施設であるので、全市町村が共同して設置・利用する施設として、「新・日本消防会館」の建設に対し助成する事業。 なお、施設完成後は、その機能を十分発揮する適切な運営を確保するため、市町村の意向が反映される仕組みが設けられ、市町村共同利用施設としての役割を果たす有益な施設となる。 令和3年度は前年度に引き続いて実施される現会館解体工事及び新会館建設工事に係る基礎工事等を行う。 ※5ヶ年事業・助成金総額90億円	1,663	日本消防協会
	小 計 (1事業・1団体)		1,663	—
通常事業と臨時事業の合計 (50事業・24団体)			4,228	—

3 災害対策関連事業

(1) 市町村災害支援金 (交付予算額：5千万円)

災害救助法が適用された地震、風水害、火災等の大規模災害に際し、被災市町村の災害対策事業を支援するため、市町村災害支援金を交付する。

(2) 消防広域応援交付金 (交付予算額：2億円)

地震、風水害、林野火災等の大規模災害に際し、都道府県の区域を越えた消防機関の応援を迅速かつ円滑に行うことを促進することにより、人命の救助、被害の軽減に資するため、被災市町村に代わって消防広域応援交付金を応援団体に交付する。

(3) 災害対策支援金 (交付予算額：1千万円)

地震、噴火等の大規模災害による被災者の自立及び被災地域の総合的な復興対策を支援することにより、被災地域の早期復興に資するため、災害対策支援金を交付する。

4 広報活動事業

(1) 宝くじ (サマージャンボ及びハロウィンジャンボ宝くじ) の広報

受託銀行等が作成するポスターを増刷し、市町村等関係機関に配付するとともに、地方協会に対し広報活動助成金を交付するなど、引き続き、宝くじの販売促進に向けた広報活動を行う。

(2) 宝くじインターネット販売の広報

宝くじ公式サイトでのインターネット販売について、受託銀行等と協力し、同サイト会員の増加に向けた広報活動を行い、宝くじの売上向上に繋げる。

(3) 会報の発行

本協会及び地方協会の業務運営状況等を紹介するため、「会報」を年3回（6月・9月・1月）発行する。

5 その他

(1) 各種調査等の実施

地方協会運営状況調査、宝くじ広報活動実施状況調査、研修会等を行う。

(2) 地方協会との連携強化等

地方協会との連携強化、市町村振興宝くじ発行団体、地方関係団体等との連絡調整を図る。